

授業科目名	分野別応用知識		授業形態 / 必選	実習	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ PA&レコーディング / レコーディング&MA / PA / 照明 / ローディー / イベント制作 / アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	1988年よりライブハウス「エッグプラント」のPAオペレーターとして活躍。 同店閉店後、フリーランスとして「Boredoms」、「S×O×B」などの専属オペレーターとして活動。 「SUMMER SONIC」や「FUJI ROCK」、「Rising Sun」など、大規模フェスでもオペレーターとして携わり、 インディーズレーベル「Tag Rag Records」の主宰や、シリーズイベント「Tag Rag Nite」の実施など、多方面での活動を展開。 また、2007年にはメンバーとして参加した「Vermilion Sands」のアルバム「Reverb Overdub」をavexよりリリースする。				
授業概要					
著作物の定義・著作権者の権利及び著作隣接権についてテキスト形式で進めていく講義授業 また、HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・著作権に関わる企業・団体を理解する。 ・著作権の働きが理解できるようになる。 ・印税の仕組み・金額・著作権保護の条件や重要性が理解できる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	知的財産についての理解、著作物の定義・種類・権利の内容
【前期】 5～8回目	著作隣接権・支分権について
【前期】 9～12回目	映像素材試聴(違法コピーと著作権の保護期間延長について)、作文提出
【前期】 13～16回目	プロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	JASRACの役割、使用料徴収に関する作文提出
【後期】 24～27回目	印税収入の計算方法
【後期】 28～31回目	CD以外の著作権使用料 インタラクティブ配信、放送、カラオケ、演奏、レンタル等 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	著作物の自由利用の範囲、権利侵害と罰則
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。 また、音楽ビジネスの根幹となる印税システムについての理解を深め、音楽ビジネスの成り立ちについてアーティストサイドの考え方も理解した上で、自分なりの考えを身につけるようにしてください。
使用教科書	テキスト配布

授業科目名	分野別応用実技Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ PA&レコーディング / レコーディング&MA / PA / 照明 / ローディー / イベント制作 / アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験:24年 Studio LubLab所属のレコーディングエンジニア。 代表作として、渋谷すばる・二階堂ふみ出演の映画「味園ユニバース」に出演の赤犬、また二階堂和美・小泉今日子・SAKEROCKライブDVD、N'夙川BOYSなどがある。また、近年ではスタジオジブリ「かぐや姫の物語」主題歌の録音を担当。				
授業概要					
講師エンジニア、講師ミュージシャン、学生ミュージシャンとの録音実習を通し、実作業を生徒自身で行い作業工程を学ぶ。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 各収録において適切な機器を選択し収録出来るようになる。 録音に必要な信号の流れを組むことが出来る。 講師の意見がなくても、自分たちでレコーディングを進めていけるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	スタジオ機材解説、パッチワーク、アウトボード機材の使用法
【前期】 9～16回目	Vo学生参加 Voレコーディング～ピッチ修正
【前期】 17～24回目	講師参加 アコギレコーディング、
【前期】 25～32回目	SSW学生参加 弾き語りレコーディング～ミックス 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	講師バンドレコーディング
【後期】 47～54回目	ホーン、ストリングスレコーディング
【後期】 55～62回目	Voレコーディング 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	ステムミックスの使用法、MIX作業
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	レコーディングスタジオでの業務に沿って、実際にアーティストの方に参加してもらって自分たちでレコーディングのオペレートを行ったり、ボーカルトラックの編集などを学んでもらいます。 楽器演奏者の方に参加してもらいながらバンド形式で録音してミックスを行うことで、より現場に近い業務を授業内で行います。
使用教科書	項目毎にテキストプリントを配布。プリントがない場合もあり。

授業科目名	PA実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ PA / PA&レコーディング				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験33年 株式会社TOP GEAR代表取締役。 関西を中心にライブハウス等での経験を活かし、Anthony Jackson、Victor Wooten、長渕剛等のツアーに参加。 数々の夏フェスやRADIO CRAZY等にもスタッフ参加。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・ホール音響システムの理解 ・仕込み～音の作り方を学ぶ ・技術の習得だけではなく、チームワークやコミュニケーション能力も養うことで現場で通用する人材を育成する 					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル卓(DiGiCo/SD7、YAMAHA/QL5)の使用方法を習得する。 ・仕込み～チェックの反復練習による技術習得 ・チューニングの基礎習得 					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	ホールシステム説明、音響卓の使い方
【前期】 9～16回目	バンドセットの仕込み
【前期】 17～24回目	チューニング練習
【前期】 25～32回目	仕込み～チューニング～チェック 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	チューニング練習、ワイヤレスマイク
【後期】 47～54回目	バンドセット仕込み、転換作業①
【後期】 55～62回目	バンドセット仕込み、転換作業② 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	バンドセット仕込み、音作り、WAVESの使い方
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	PA卓のDiGiCo/SD7の使い方を学んでいきます。 また、モニター卓を分岐してのセットアップなども学んでいきますので覚えることがたくさんあると思いますが、わからないことは何でも聞いて吸収してください。
使用教科書	なし。適時プリント資料配布

授業科目名	照明実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ 照明				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験12年。 ライブハウスを中心に、舞台照明エンジニアとしてキャリアを積み重ねる。ディーライブ株式会社「京橋BERONICA」へ入社後、チーフエンジニアとして活躍。現在、梅田amHALLでチーフエンジニアとして携わりながら、様々な現場で活躍中。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・ホールを使用しての実習授業 ・本番を想定しての実習で現場に強い人材を育成する。 					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・GrandMA、AVOLITEの基本操作 ・LEDパー、MAC AURA、VLを取り入れた演出方法の習得 ・情報に基づいて図面の作成、オペレート～バラシの一連の流れを理解する ・チームワークの大切さを学ぶ 					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	ホール内システム説明、仕込み～バラシ
【前期】 9～16回目	LEDムービング等を使用しての仕込み～バラシまで
【前期】 17～24回目	テーマに基づき、グループで図面作成～バラシ仕込み
【前期】 25～32回目	ライブウィークシミュレーション、打ち込み 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	ファッションショー、展示会での照明演出
【後期】 47～54回目	タレント系コースと合同でのダンス・芝居の照明
【後期】 55～62回目	ライブウィークシミュレーション、打ち込み 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	複数バンドのライブ照明演出
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	1年次で学んだ基礎を元に各クラスで様々な催し物に合わせた仕込み～オペレートを学んでいきます。 わからないこと、知りたいことはなんでも聞いてください。
使用教科書	随時図面などを配布

授業科目名	イベント制作実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ イベント制作				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験8年 自身もアーティストとして活動しながら大阪ライブハウスにて勤務。その後、心齋橋にライブハウス『歌う魚』を立ち上げインディーズアーティストのレーベル業務も行う。大阪堀江一帯のライブサーキットや心齋橋を中心としたライブサーキットの制作も行う。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> 授業内でイベント企画、実施をすることで、必要書類作成や打ち合わせ、予算申請・収支決算までを行っていく。 クラスで役割分担しながら行うことで、チームワークに必要な協調性やコミュニケーション能力を養っていく。 					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 各々が立案を持ち、イベント制作に参加する。 企画書が作成出来る。プレゼンが出来る。 チームで制作し目標を設定し達成/非達成を検証する。 イベントの一連の流れを把握し、自分たちで運営が出来る。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	夏季フリーイベント企画立案
【前期】 9～16回目	夏季フリーイベント会場選定
【前期】 17～24回目	夏季フリーイベント内容制作
【前期】 25～32回目	夏季フリーイベント本番、報告書作成 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	卒業制作企画① グランドスケジュール、出演アーティストブッキングリストアップ
【後期】 47～54回目	卒業制作② 会場手配、資料作成、アーティストブッキング
【後期】 55～62回目	卒業制作③ 会場マニュアル作成、オリジナルコンテンツ準備 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	卒業制作④ 会場マニュアル作成
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% 90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	<p>2年生ではフリーイベント、サーキットイベントなどを主に制作していきます。</p> <p>企画書作成、プレゼン、イベント対応、報告書作成などイベントに関する一連の流れを学んでいきます。</p> <p>1年生の頃よりも、よりいっそう素晴らしいイベントを一緒に創りあげましょう！</p>
使用教科書	なし。適時プリント資料配布

授業科目名	ローディー実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ ローディー				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験18年 大阪芸大音楽学科卒業後上京し当時全国ツアーを行うPUNK ROCK BANDのスタッフとして働く。 有限会社BACKLINE 江守徹氏に師事。soweluツアーに同行 ローディー業務の基礎を学ぶ。 girugameshを始めとする数々のV系バンドのローディーを担当。数々のフェスにスタッフとして参加(FUJI ROCK FESTIVAL、SUMMER SONIC、LOUD PARK、ROCK IN JAPAN FESTIVAL、COUNTDOWN JAPAN等)ギターアンプメーカー PeaveyのA&Rとしても活躍中。				
授業概要					
・1年次で学んだ楽器の知識を応用し、様々なセッティング方法を学ぶ。また、ケンパーなど近年よく使用されているアンプの使い方を学び、様々な現場に対応できるローディーを育てる。					
到達目標					
・ドラムの適切なチューニングができるようになる。 ・各アンプの詳しい使い方を理解する。 ・エフェクターの踏み替えや弦交換などギターテックについての技術を習得する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	ドラムチューニング、外部イベント機材準備
【前期】 9～16回目	各メーカーギターアンプの使い方
【前期】 17～24回目	KEMPERの基本的な使い方
【前期】 25～32回目	KEMPERの使い方(応用) 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	外部イベント楽器打ち合わせ、イベント参加
【後期】 47～54回目	エフェクターの踏み替え、ギターチェンジ
【後期】 55～62回目	エフェクターを使用したの音作り 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	ギターテックについての応用
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	ローディーとして音楽業界で活躍する上での基本的な知識や、機材の使い方を理解する。 楽器の扱い方を理解し、現場などで積極的に動き、活躍出来るようになりましょう。
使用教科書	なし。適時プリント資料配布

授業科目名	DAWミキシング実習		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ PA&レコーディング /レコーディング&MA				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験23年 大阪芸術大学を卒業後、大阪のレコーディング・ライブハウス・リハーサル複合のスタジオ、フリーピープルにてエンジニアとして勤務。その後、大阪を中心にライブハウス・キングコブラなどでPAや、フリーでレコーディングの音響エンジニアをしている。				
授業概要					
DAWを使用したミックスの作業を中心に行い、重要性の理解と楽曲のサウンドの完成度を上げていく授業です。 オートメーションなどを駆使して、楽曲の表現力を高めるノウハウを身に付けていきます。					
到達目標					
・音量バランスの調整や定位の調整、EQなどの補正など、基本的なミックスの成り立ちを身につけることができる。 ・コンプレッサーやエフェクターの使い方を習得することができる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	課題曲①に合わせたラフミックスの作成、編集・ピッチ修正、エフェクトの使用方法
【前期】 9～16回目	課題①提出。 課題曲②に合わせたラフミックスの作成、編集・ピッチ修正、エフェクトの使用方法
【前期】 17～24回目	課題②提出。 課題曲③に合わせたラフミックスの作成、編集・ピッチ修正、エフェクトの使用方法
【前期】 25～32回目	課題③提出。 前期復習 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	課題曲④に合わせたラフミックスの作成、編集・ピッチ修正、エフェクトの使用方法
【後期】 47～54回目	課題④提出。 課題曲⑤に合わせたラフミックスの作成、編集・ピッチ修正、エフェクトの使用方法
【後期】 55～62回目	課題⑤提出。 課題曲⑥に合わせたラフミックスの作成、編集・ピッチ修正、エフェクトの使用方法 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	課題⑥提出。 テスト提出用ミックス作成
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	基本的なミックスのノウハウを学んでいきます。 特に理解の難しいコンプレッサーの用法や効果、 ヴォーカルの編集やピッチ修正のノウハウはきちんと身につけておいたほうが良いでしょう。 後期は学生の演奏などの「アマチュア音源」を使用して、編集やピッチ修正を駆使してミックスの完成度を上げていきます。
使用教科書	なし。適時プリント資料配布

授業科目名	マネージメント実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験21年 イギリス・リヴァプール総合芸術大学LIPAを卒業後、大阪レコードショップ/インディーズレーベルにてバイヤー及び海外バンドとの契約交渉担当者として勤務。その後、インディーズレーベル“RIMEOUT RECORDINGS”を立ち上げ、CDの制作販売やライブ/DJイベントの企画などを行っている。				
授業概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・1年次で学んだ基礎を活かし、さらに実践を意識したアーティストグッズの企画やプレゼンテーションを行う授業内容です。 ・後期ではプロダクションやレーベルの研究も行い、経営に対する知識も深めていきます。 					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・企画書、紙資料、プロモーションツールなどを独力で作成できるようにする。 ・マネージャー、レコード会社スタッフとしての基本的な発想や実務的な作業能力を身に付ける。 ・様々な資料制作作業を通じて論理的な発想に慣れる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	アーティストグッズ研究① 市場調査・値段設定
【前期】 9～16回目	アーティストグッズ研究② 企画書作成
【前期】 17～24回目	アーティストグッズ研究③ 企画書作成、閲覧会、検証
【前期】 25～32回目	エンターテインメント業界研究 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	ヒット曲歌詞研究 楽曲・アレンジの検証
【後期】 47～54回目	エンタメ市場調査① 調査準備・結果分析・発表
【後期】 55～62回目	エンタメ市場調査② 調査結果を使用した宣伝活動 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	音楽ベンチャー研究 レーベル・プロダクションの仕組み
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	自分が持っている知識や企画力も実務的な能力と経験値がないと意味がありません。 この授業を通じて実際に仕事で使える実務力とスキルを身に付けましょう。
使用教科書	なし。適時プリント資料配布

授業科目名	映像編集実習		授業形態 / 必選	演習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ レコーディング&MA				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経歴:21年 NHK BS STATION-ID CONTESTなど様々なタイトルを受賞後、映像ディレクターとして、イベントではVJとして活動を開始。 VJとしては数多くのビックイベントに呼ばれ多くのアーティストと共演。 その後、TVのオープニングやCMなどの制作に留まらず、現在はイベントや舞台 LIVE等のオープニングや映像演出などその仕事は多岐に渡る。				
授業概要					
映像編集ソフト「Premiere」の基礎を学び、撮影・編集・合成・アニメーションなどを学ぶ授業です。 映像編集作業に必要な技術を身に付けることで、多種多様なMA作業に対応できる人材を育てていきます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・Premiereだけでなく、Photoshop、illustrator、AfterEffectsも扱えるようになる。 ・映像作品をDVDでオーサリングできるようになる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	自己紹介ムービーの編集 ムービー撮影、エフェクト、仕上げ
【前期】 5～8回目	アニメーションテクニック ペイント方法、オーディオの追加、仕上げと完成
【前期】 9～12回目	Photoshopの合成テクニック レイヤー、ツール
【前期】 13～16回目	illustratorでロゴ編集、AfterEffectsでのアニメーション 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	CM制作
【後期】 24～27回目	Encore DVDオーサリング～卒業制作DVDのオーサリング
【後期】 28～31回目	卒業制作仕上げ作業 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	卒業制作 本編のオーサリング～仕上げ
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	Adobeのソフト「Premiere」を使用した映像の編集方法や、「After Effects」を使用したエフェクト操作などを学びます。 動画を扱うための基礎知識から、ソフトの使い方の応用方法まで幅広く学び、映像編集技術の基礎を身につけていきます。
使用教科書	項目ごとにプリントを配布。ない場合もある。

授業科目名	PAイクイップメント実習		授業形態 / 必選	演習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ PA / PA&レコーディング				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	実務経歴:33年 有限会社T-SPEC代表取締役。コンサート・イベント・芝居等の音響で国内はもとより海外での音響経験も多数。早くからデジタルミキサー、ラインアレイスピーカーを取り入れ、最新のテクノロジーから古きアナログまで幅広い知識と経験で音響を行っている。最近では音響オペレーターのみならず、デジタルネットワークのプランニングなども始め、2014年より、年末に開催されている「MUSIC STATION SUPER LIVE」では DANTEオーディオネットワークのサポートを手掛けている。				
授業概要	音響システムの概要について学び、どのようなしくみになっているのを理解します。 音響機器の個々の理解とその組み合わせによる音響システム構築を学ぶことで、近年使用されているシステムやネットワークに対応できる人材を育てます。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 音響システムの個々の使い方と組み合わせた時の使用方法について理解ができ、音響システムプランが組めるようになる。 音響機器の細かな設定・操作が出来るようになる。 音についての基本理論がどのような聞こえ方をするか、音響現場(PA)ではどう利用されているかを理解し説明できるようになる。 				

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	YAMAHA/M7CL、QL5の操作 基本操作と各コンソールの違い
【前期】 5～8回目	ハース効果、デジタルミキサーパッチ方法
【前期】 9～12回目	スピーカーの基本、バイアンプ・トライアンプ駆動 仕組み、分解、ネットワークの理解
【前期】 13～16回目	システムルーティング、パッシブ、マルチアンプ 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	PAプランニング 小型・ヴォーカルコンテストライブのプランニング
【後期】 24～27回目	チューニング、無線LANのリモートコントロール
【後期】 28～31回目	スピーカーメンテナンス メイン・モニター 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	ミキサー機能 カスタムフェーダー・ユーザーディファインドキー、チャンネルジョブ設定
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	デジタル卓の使い方を学び、接続方法やそれぞれの催しものに合わせたシステム構築を行います。 ネットワーク論と同じく近年の現場では必要な知識や技術を学びますので、しっかり覚えていきましょう！
使用教科書	プリントにて配布・ホワイトボードにて説明

授業科目名	CAD実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ 照明 / イベント制作				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験17年 大学にて研究員として学生に対するICT、CADの指導をはじめ、その後特許事務所のパテントエンジニアを経て現在のICT、CAD教育業務に携わる。 その他、企業、教育施設において情報セキュリティの指導にも携わる。				
授業概要					
1年次で学んだCADの基本操作を活かし、応用図面を作成していきます。 イベント系に関する図面だけではなく、一般的な幾何・機械及び分野別の図面も書けるようになります。					
到達目標					
・建築図面を書けるようになる ・ホール図面を書けるようになる					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	建築図面① 建具配置方法、図形登録・挿入・仕上げ
【前期】 5～8回目	建築図面② ①の課題提出、二線・平面、図形ダウンロード
【前期】 9～12回目	建築図面②作図
【前期】 13～16回目	建築図面②作図続き～課題提出 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	建築図面③作図
【後期】 24～27回目	建築図面③課題提出～建築図面④作図 方眼線の作成と活用
【後期】 28～31回目	建築図面④課題提出～幾何作成 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	ホール図面作成
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	2年次には各課題を作成し、提出していく授業になります。 様々な図面を書けるようになるために勉強していきましょう。 必要なら教室を借りて自習を行うなどしっかり理解できるようにしていきましょう。
使用教科書	CADテキスト配布(1年次のものを流用)

授業科目名	デザインワーク実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	実務経験:34年。 主に電器・通信関係を中心とした販売促進用ツール(ポスター、店頭展示パネル、POP、チラシ、パンフレット、リーフレット)、パッケージ・広告等、書籍のレイアウト、装丁、またCDジャケットやポスター、フライヤー、グッズ、広告等の音楽関係の制作物を数多く手掛ける。				
授業概要					
DTP(Desktop Publishing)のためのグラフィックコンテンツの作成技術、デザインの知識を学びます。 特にAdobe Photoshop(以下、フォトショップと称する)の操作方法も検定スタンダードレベルを目標に学習していき、後期からはAdobe Illustratorも併用して、印刷用原稿制作形式の実習課題を行い、操作方法を理解し、別授業のアーティストデベロップメントと連携し発注・入稿・印刷までを実践する。					
到達目標					
・イラストレーター、フォトショップを活用し、指示通りの作業を正確かつ合理的に行う事ができる。 ・イラストレーター、フォトショップを使用して印刷用データを作成し、印刷工場への発注・入稿ができる。 ・実例に則した課題を作成することにより、デザインによって『何かを伝えること』が効果的にできるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	Photoshop① 基本操作、選択範囲、画像の移動と変形
【前期】 5～8回目	Photoshop② カラーモードと色調補正、ペイント、レイヤー操作
【前期】 9～12回目	Photoshop③ 練習問題、パスとシェイプ、フィルター
【前期】 13～16回目	実践問題、実技問題 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	課題1 B5フライヤー印刷用データ作成
【後期】 24～27回目	課題2/3 スタンプカード/Tシャツ印刷用データ作成
【後期】 28～31回目	課題4 DVDジャケット一式印刷用データ作成 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	課題5/6 部活フライヤー/DMフライヤー印刷用データ作成
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	イラストレーター、フォトショップを活用し、 デザイン・印刷など主にDTP(Desktop Publishing)のためのグラフィックコンテンツの作成技術を学びます 一緒にたくさんの作品を共に作り上げましょう。
使用教科書	なし。適時プリント資料配布

授業科目名	イベント実習		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ PAコース / 照明コース / ローディー / イベント制作 / PA&レコーディング				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経験:35年 サウンドスペースキャバに入社その後独立し、エンジンルームを設立する。 ライブハウス十三ファンダンゴのオープンより参加し、チーフPAオペレーターとして現在も活躍中。				
授業概要					
各担当制で土曜日の学内・学外イベントのスタッフを行う。 ※場合により、日曜・祝日のイベントスタッフを担当することもある。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの経験を重ね、スタッフ間でのコミュニケーション能力を養い、現場経験値を積むことができる。 ・仕込み～リハーサル～本番～撤収作業の流れを繰り返し行うことで、ライブスタッフとしての経験値を得る。 ・本番オペレート、転換、進行を行うことで、現場に強い人材になる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/ヴォーカル系コンテスト
【前期】 9～16回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/各外部イベント対応
【前期】 17～24回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/オペレート実習
【前期】 25～32回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/バンド系イベント 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/ヴォーカル系コンテスト
【後期】 47～54回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/オペレート実習
【後期】 55～62回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/バンド系コンテスト 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	学内イベント準備～シュミレーション～本番対応/卒業制作イベント準備～本番
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	外部イベントや学内イベントのスタッフを通して、各コースの技術や経験を積むことだけでなくコミュニケーションをとりながらイベントを進行していくことの大切さを学んでいきます。 スタッフとしての経験を通して周りとの協調性も養っていきましょう。
使用教科書	なし。各イベントごとに資料を事前配布

授業科目名	アーティストデベロップメントⅡ		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経歴:23年 インディーズバンド時代に自信のレーベルを立ち上げて以降、HIP HOPやLOUD ROCK BAND、ガールズグループなど多岐にわたるアーティストのプロデュースやマネジメント業務に従事する。各種イベント制作も行い、全国のLIVE HOUSEやCLUBで音楽イベントを展開しつつ、大規模ホールでの様々なフェスをサポートし続け、日本国内にあらゆるエンタテインメントコンテンツを提供している。				
授業概要					
アーティスト活動を支えるマネジメント業務/レコード会社業務の実務を学ぶ事を目的とし、前半は座学、後半は外部折衝を中心に授業を実施、アーティスト選定～音源制作(レコーディング)～CDリリース～プロモーション(イベント制作含む)の業務を学ぶ。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト収支計算によるビジネス思考の定着。 ・外部折衝による積極性/自主性の育成。 ・チームビルディングの重要性の認知。 ・実務における基礎技術の習得。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	グランドスケジュールの確認、レコード会社並びに音楽業界全体の各業務について
【前期】 9～16回目	音源選考、アーティスト面談
【前期】 17～24回目	マネジメント準備 チームビルディングの重要性理解
【前期】 25～32回目	チームビルディング、CDシングル2曲の選定、ジャケットデザインの方向性 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	プロモーション活動① ジャケットデザイン作業開始、CD店舗オーダーシートの作成
【後期】 47～54回目	プロモーション活動② CD店舗営業、MV映像制作打ち合わせ
【後期】 55～62回目	プロモーション活動③ 販促グッズの作成、MV活用方法 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	プロモーション活動④ CD店舗インスタライブ調整
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	アーティスト活動を支えるマネジメント業務/レコード会社業務の実務を学ぶ事を目的とし、前半は座学、後半は外部折衝を中心に授業を実施、アーティスト選定～音源制作(レコーディング)～CDリリース～プロモーション(イベント制作含む)の業務を学んでいきます。楽しい一年にしましょう。
使用教科書	レコード会社の業務チャートや契約書の雛形など、カリキュラムに沿った自主制作教材の一部利用。

授業科目名	レコーディングオペレート実習		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科Ⅱ部■ PA&レコーディング/レコーディング&MA				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	実務経歴:12年 作曲・編曲からレコーディングまでマルチにこなすサウンドクリエイター。 作・編曲家としてはユニバーサルスタジオジャパンのショー音楽制作など、日本各地のテーマパークやイベントの楽曲制作に携わる。 レコーディングエンジニアとしても、テレビCMをはじめとして、多くの楽曲の録音やミックスを行っている。				
授業概要					
レコーディングを専攻しているクラスのみが受講する実践的な授業です。 前期は、おもに実作業を通じてチーフエンジニアとアシスタントエンジニアの分担を学び、それぞれのポジションでの役割を遂行できるよう練習します。 後期は、A～Dチームに分かれて卒業制作を行い、卒業制作のレコーディングによるアルバム制作を通して、レコーディングエンジニアとしての作業を一通り学び、コミュニケーションの取り方や録音・ミックス方法を学びます。					
到達目標					
・チーフエンジニアとしての役割を学び、実践的な練習により音の良し悪し・演奏のミスやズレに注意を払えるレコーディングエンジニアになる。 ・アシスタントエンジニアとしての役割を学び実践的な練習をすることで、時間のロスのない円滑なレコーディング作業を進められるようになる。 ・レコーディングからミックスまでの流れを学び、完成品のイメージを持った計画性のあるレコーディングを進めることができる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	スタジオ設備解説、ヴォーカル録音
【前期】 9～16回目	バンド録音① ドラム・ベース録音、ギター・ヴォーカルダビング
【前期】 17～24回目	バンド録音② ドラム・ベース録音、ギター・ヴォーカルダビング
【前期】 25～32回目	編集とミックス 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	卒業制作レコーディング①
【後期】 47～54回目	卒業制作レコーディング②
【後期】 55～62回目	卒業制作レコーディング③ 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	卒業制作レコーディング④
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前期/後期の筆記テスト80% 課題作文10% 平常点10% ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	2年次では、作品が良くなるよう完成形のビジョンを持ってレコーディングを進めてもらいます。とくに、楽器や奏法の名称・音響基礎知識・基本的な楽典など1年次に学んだ知識は漏れなく把握しておく必要があります。 卒業制作では、講師の手助けを受けずに自分たちだけでレコーディングを進行していくことになります。それを具現化したレコーディング方法を習得できるよう、授業に臨んでください。
使用教科書	なし。適時プリント資料配布